

PROSPER S5 DMビジネスの 成長に貢献

共立印刷株式会社



KODAK PROSPER S5を合計9台搭載した5ラインのシート搬送印字機で、700万部のDMをわずか2週間で処理。新たにリード&プリント機能も導入するなど、圧倒的な生産能力でDM売上100億円を目指す。

圧倒的な生産能力を背景にビジネスを拡大

1980年創業の共立印刷株式会社は、東京都板橋区に本社を構え、全国5カ所の営業拠点とグループ企業5社を擁する総合印刷会社である。埼玉県本庄児玉エリアには、輪転印刷から枚葉印刷、DM加工、製本加工まで8つの製造拠点を集約し、首都圏を中心に全国の大ロットかつ多様な印刷ニーズに対応している。なかでも輪転機34台体制の本庄第1・2工場は国内最大規模の輪転工場として、100万部単位のカatalog・チラシ印刷に対応する。競合他社を寄せつけないその圧倒的な生産能力は、同社のビジネス成長に大きく貢献してきた。また2017年にはセキュリティ性の高いDM専門工場「情報物流出力セン

「リード&プリント機能は、たとえミスがあっても不良品が出ない、リスクが存在しない安全な製造方法です」

ター」を竣工。宛名印字から圧着、封入封緘、ラベル貼、ラッピング、発送まで充実したDM関連設備による一貫生産ラインを構築。また専門の営業部門の立ち上げやDMプランナーの育成にも着手するなど、急成長するDM市場でのシェア拡大を目指している。



執行役員 第2製造本部長 田島 紀明 氏



第2製造本部 情報加工部長代理 野村 光男 氏



第2製造本部 情報加工部 加工課長 蔵田 慎太郎 氏



フルカラー可変印刷では NEXPRESS が活躍



DM 関連設備による一貫生産ラインを構築



顧客の利益向上につながる DM を提案

5 ラインの印字機に 合計 9 台の PROSPER S5 を搭載

同センターでは、現在、KODAK PROSPER S5 インクジェット プリンティング システムを搬送機（正栄機械製作所製）に搭載した 5 ラインの印字機が活躍している。内 4 ラインには PROSPER S5 を各 2 台ずつ搭載し、バリエーションの幅広いニーズに対応する。最高印字スピードは毎分 150m と高速で、100 万部単位の DM にも余裕を持って対応できるという。同社が初めてコダックの PROSPER S5 を導入したのは、2012 年のこと。執行役員で第 2 製造本部長の田島紀明氏は、当時を振り返って導入理由を次のように話している。

「当時はまだ、当社が DM 印刷に取り組みはじめて間もない頃でした。圧着 DM の宛名印字に必要な設備を探していてコダックの PROSPER S5 に出会いました。他社製品とも比較しましたが、対象物とのクリアランスの広さと印字スピードが決め手になって PROSPER S5 の導入を決定しました」

PROSPER S5 は、プリンティングヘッドと用紙との距離を最大 5mm 程度まで調整できる。このため、厚みのある印刷物でも安心して印字でき、高速でも用紙が接触する心配はない。こうした PROSPER S5 の柔軟性を同社は高く評価した。印字品質についても「汚れやカスレがなく美しい」「墨の濃度も濃い」と不動の評価を得ている。UV 印字機と比べると、その差は歴然だという。

月最大 1,000 万部の DM を PROSPER S5 で処理

PROSPER S5 を初めて導入した 2012 年以降、同社の DM 印刷事業は急成長を遂げていった。2018 年 3 月期の決算では前年比約 2 倍となる売上高 35 億円（総売上高の約 7%）を達成し、さらなる成長が期待されている。「DM100 億円体制」に向けた積極的な設備投資が進み、PROSPER S5 搭載のシート搬送印字機も次々と増設され、現在の 5 ライン 9 台体制が整った。第 2 製造本部 情報加工部長代理の野村光男氏は、1 号機の導入から積み重ねてきた確かな実績と信頼性が今回の増設につながったという。

「機械トラブルが少なく、システムとしての信頼性が極めて高いという印象です。操作性が良く扱いやすいため専任オペレータでなくても簡単に操作できます。機種を統一していれば、操作に戸惑うこともありません」

現在の仕事量は月最大で約 1,000 万部。1 案件で 700 万部の DM をわずか 2 週間で処理したこともあるという。この仕事のジョブ設計を

行った情報加工部 加工課長の蔵田慎太郎氏は、PROSPER S5 について「スピード、ランニングコスト、品質、対応力が素晴らしく、誰に任せでも安心して使える機械だ」と大きな信頼を寄せている。

日本初の試みとなるリード&プリント機能に挑戦

同社は 2017 年度初頭に PROSPER S5 を増設した際、日本初となるリード&プリント機能も導入した。リード&プリント機能とは、表面に宛名・住所、裏面にカードの利用明細といった関連する可変情報を、表裏両面に正確に印字する先進機能のこと。裏面印刷時には表面に印字済みのバーコードをカメラが読み取り、関連情報を呼び出して印字する。このリード&プリント機能を導入した理由について田島本部長は次のように話している。

「今までも反転装置を使って処理できないかなどと挑戦は続けてきたので、リード&プリントの話聞いたときは、ぜひ導入したいと思いました。表裏を同じ順序で 2 回通せば、できないこともないのですが、人為的なミスで順序を間違えることもあります。その点、リード&プリントなら、たとえミスがあっても不良品が出ない、リスクが存在しない安全な製造方法だと魅力を感じました」

これまでシート紙の場合、「両面バリエーション印刷」はタブーとされてきた。Z 折り圧着ハガキのように、同じ面に可変情報を集約するのが常識だった。それでも表裏両面に可変情報を載せたい DM デザインのニーズはある。リード&プリント機能を活用することで、お客様に利益をもたらす新しい DM の可能性を提案できるなら、導入をためらう必要はない。そう考えて日本初の試みに踏み切ったという。失敗を恐れずにつねに新たな挑戦を続ける同社のチャレンジスピリットに、コダックの先進技術は最重要な武器となっている。



写真は情報物流出力センター

共立印刷株式会社

代表取締役社長：佐藤 尚哉

本社：〒174-8860 東京都板橋区清水町 36 番 1 号

情報物流出力センター：

〒369-0315 埼玉県児玉郡上里町大字大御堂 1427-2

TEL：0495-35-0167

<http://www.kyoritsu-printing.co.jp/>

この印刷物は、KODAK NEXPRESS を使用して印刷しています。

コダック 合同会社

<http://www.kodak.co.jp>

〒140-0002 東京都品川区東品川 4-10-13 TEL.03-6837-7285 (営業代表)

大阪：050-3819-1266 名古屋：050-3819-1265 福岡：050-3819-1270

仙台：050-3819-1255 札幌：050-3819-1250 金沢：076-200-9583

製品のお問い合わせ先 JP-GCG-products@kodak.com

2018-07

